

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について（K S 2 7）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で18回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和8年10月19日（月）から10月29日（木）までの間（本実施期間の前後 約1週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

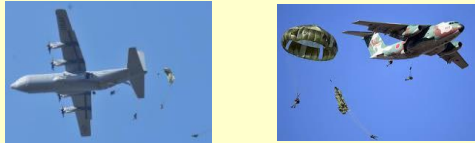
演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができます。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について

水陸両用作戦



空挺作戦



海上作戦



統合防空ミサイル防衛



共同統合対艦戦闘



その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
- 重要施設等防護（基地警備等）
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



※ 演習前後の期間において、自衛隊の航空機が宮崎空港を利用します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）の 宮崎県内における訓練について

本演習において宮崎県内で実施する訓練は、

- ① 統合通信訓練
- ② 統合防空ミサイル防衛（高射部隊等の機動展開訓練）
- ③ 水陸両用作戦（航空機の離発着）
- ④ 統合電磁波作戦訓練
- ⑤ 陸上作戦（対着上陸戦闘訓練等）
- ⑥ 統合後方運用（物資等輸送訓練）
- ⑦ 重要施設等防護（滑走路（被害）復旧訓練）
- ⑧ 実証実験（小型無人機対処訓練）

を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

宮崎県内で実施を検討している訓練内容

② 共同統合対艦戦闘

航空自衛隊の戦闘機部隊が四国沖で実施される共同統合対艦戦闘に参加し、それぞれの対処要領について演練します。その際、航空自衛隊の戦闘機部隊及び警戒管制部隊が新田原基地に展開する訓練を計画しています。

【期 間】令和8年10月19日（月）～10月29日（木）（事前に準備期間を設定）

【参加部隊】航空自衛隊：北部航空方面隊 第2及び3航空団、西部航空方面隊 第5航空団、警戒管制団

【新田原基地】人員約30名、F-15戦闘機×8（最大）、F-35A戦闘機×4、E-2C/D早期警戒機×1

訓練イメージ



新田原基地



F-15×2-4
(新田原基地所属)



F-15×4
(千歳基地所属)



F-35A×4
(三沢基地所属)



E-2C/D×1
(三沢基地所属)

- ①四国沖での訓練前、新田原基地に展開
- ②四国沖での訓練終了後、新田原基地へ帰投
※期間中、1日1回の運航を計画しています。
なお、夜間の運航は計画致しません

※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

宮崎県内で実施を検討している訓練内容

② 統合防空ミサイル防衛（高射部隊等の機動展開訓練）

航空自衛隊の高射部隊が、総合防空ミサイル防衛に係る航空自衛隊の任務遂行能力の向上のため、新田原基地及び高畑山分屯基地において機動展開訓練を実施します。

なお、実弾の使用はありません。

【期 間】令和8年10月19日（月）～10月29日（木）（事前に準備期間を設定）

【参加部隊】新田原基地 航空自衛隊：西部航空方面隊 西部高射群 第8高射隊（人員約30名、車両約15台）
高畑山分屯基地 航空自衛隊：西部航空方面隊 第8基地防空隊（人員約30名、車両約15台）

訓練予定場所



訓練イメージ



※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

宮崎県内で実施を検討している訓練内容

③ 水陸両用作戦（航空機の離発着）

空自新田原基地において、九州の自衛隊施設及び九州周辺空域にて実施する各種訓練に用いる航空機の緊急時使用場所として、一時的な駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～10月29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】 陸上自衛隊：約50名

西部方面隊回転翼機（AH-64D×2機）

第1ヘリコプター団（CH-47×4機）

※昼間及び夜間に飛行する可能性があります。

※人数・機数は現時点で計画されているものです。

訓練予定場所



訓練イメージ



航空機への燃料補給・整備

宮崎県内で実施を検討している訓練内容

⑦ 重要施設等防護（滑走路（被害）復旧訓練）

陸・空自衛隊の部隊が新田原基地において、滑走路被害復旧訓練を実施します。なお、爆破薬を使用した訓練は実施しません。

【期 間】令和8年10月22日（木）～10月26日（月） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊：第5施設団 約25名

航空自衛隊：西部航空施設隊 約30名、第5航空団 約10名、航空教育集団 約10名



訓練イメージ

